

第10次上川町総合計画策定委員会（第1回）

日時：平成29年10月19日（木）18：30～20：00

場所：上川町役場 大会議室

議事抄録（発言順）

(1)策定委員会設置要綱について

(事務局) 資料p 1 説明

質疑なし

(2)正副委員長選出について

(事務局) 要綱の第4条2項により、正副委員長は委員の互選により選出することになっている。どのように選出したらよいか。

(委員) 互選となっているが、事務局案があればお願いしたい。

(事務局) 事務局一任で良いか。

(委員一同) 異議なし

(事務局) それでは、委員長を西木和義様、副委員長を青木光晴様にお願いしたい

(事務局) ただいまの提案でよろしいか。

(委員一同) 異議なし

(委員長) 委員長に選任されたが、ことの重要さに心配をしている。委員の指導と協力をお願いしたい。

(3)第9次総合計画の実績について

(事務局) 資料p 3～4 説明

質疑なし

(4)第10次総合計画策定の概要について

(事務局) 資料説明

- (委員) 第9次総合計画の時も将来像、目標があったが、この10年間、私たち町民に内容が細かく伝えられていたのかなという思いがあった。常に町民に意識してもらえるように、目標など事業を通してやっているということを伝えてほしいと思う。
- (事務局) もっともな意見だと思うので、常に心掛けて実現していきたい。
- (委員) 町民が1つの方向に向かっていけるようお願いしたい。
- (委員) 将来像の文章について、意味が分かるような、分からないようなところがあるので、教えてほしい。
- (事務局) 計画案のp21をみてほしい。テーマの中身としては当町の自然を背景とした、大雪山自然国立公園と調和したまちづくりを9次まで進めてきた。それを10次も継続したいということで、「自然と調和した未来」としている。今後10年、どのようにいくかということでは、おもてなしの心を持って交流を、町外から来る方々に対しても進めていくのが、町の魅力を高めることだと思っている。そのことを町民と行政が協力しながら進めていきたい。
- (委員) 基本的には自然との関わりの中でいろいろなことを進めていくのか。
- (事務局) 中心となるのは、人口減少が多く町の町でいわれており第1章で出てくる。これを機軸としながら、大雪山国立公園をしっかりと活用しそれぞれの分野で事業を進めていく。
- (委員) 委員がわからないとなると町民もわからないと思うので、テーマ、中身を委員が理解できるようにしていけたらいいと思う。
- (事務局) 委員の後ろには町民がいると思うので、説明をしっかりとやっていきたい。
- (委員) 第9次でも大雪山国立公園を軸に進めてきたとのことだが、実績報告書の中ではどの辺が関わっているのか聞かせてほしい。
- (事務局) 産業振興の観光の部分が大きく関わっている。私たちの背景にはいつも大自然がある。空気がおいしい、景観など大雪山が背景があると私どもは解釈している。当町としては自然と調和するというのは切っても切れないと思っている。それは直接的に町の事業となるものと、それを利用して事業展開するものと2つある。生活の中で、空気がおいしい、水がおいしいといわれていることが基本にある。基盤整備、水道整備もそれらを基に考えられている。

(事務局) 補足すると、庁舎内の共通理解としてあるのは、町民アンケート、中高生アンケートをみても、上川町の特徴として自然のすばらしさを一番に挙げていることがあるので、それを町の将来像として掲げた。

(5)基本構想（素案）について

(事務局) 別紙①【第10次上川町総合計画(案)】説明

質疑なし

(6)今後のスケジュールについて

(事務局) 資料p7説明

(委員) 11月の開催について変更は効くものか。11/22は理事会があり、変更可能であればお願いしたい。

(事務局) 委員長、副委員長の都合を確認して調整させていただきたい。

(7)その他

(事務局) 別紙②【まちづくりアンケート調査結果報告書】、
別紙③【中高生アンケート調査結果報告書】説明

(委員) 次回の議論を進めるに当たり、9次の計画とどこが変わったのか説明してもらえるとわかりやすいと思う。

以上